

月報 2022年 7月31日 No.378

石城山岳会

7月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

雄国沼・雄国山・牛ヶ岳

西藏王放牧場から瀧山 1,362m

蔵王古道

登山教室山行 シモフリ新道

天空の楽園歩き 水引入道から不忘山へ

月山フラワートレッキング

雲取山（2017m）縦走

雄国沼・雄国山・牛ヶ岳

2022年7月3日(日)

参加者：登山教室生 伊藤(晴)、比佐、芳賀(恵)

山岳会員 下山田、蛭田(一)、小林、佐藤(勝)、尾形(成)、尾形(長)、赤塚(園)

蛭田(三)、藁谷、伊藤(貴)、野寺、小松、猪狩(由)、佐藤(春) 計 17名

車3台に分乗して5時に水石トンネル出発、6:20雄国萩平駐車場に到着。すでにシャトルバス待ちの行列でした。7:50のバスで金沢峠へ。澄んだ雄国沼湿原と猫魔ヶ岳の山々の美しさに感動しました。展望台で記念撮影、木道を進むと、湿原は見渡す限り黄色の花が広がり、満開のニッコウキスゲの群落に出会えました。絶景のフォトスポットでした。登山道に入り、だんだんと急登になり、暑さで息切れしながら雄国山山頂に到着しました。山の上から見える黄色の湿原も綺麗でした。下山途中、右斜面の茂みから小林さんの呼ぶ声が…。そこは、繁みで隠れていた(牛ヶ岳)分岐点でした。先に登った健脚の4人から、牛ヶ岳山頂の眺望を勧められ、登ることになりました。急斜面を登ると、山頂は遮るものがない360度パノラマの絶景でした。ほとんどの登山者が通り過ぎる中、大自然の美しさを満喫できました。ラッキーでした。分岐点に戻ると、偶然にも山縣さんと本日、2度目の遭遇、笑いあり、情報交換できて、とても楽しかったです。雄国沼休憩舎で昼食、13:25萩平駐車場に到着。帰りは、アスパラガス産地の恋人坂を經由して、裏磐梯レイクリゾートの温泉(JAFカード提示すると、入浴料が割引になります。)で汗を流し、18時に水石トンネル到着。晴天に恵まれ、ニッコウキスゲ満開、自然を味わい、楽しく、贅沢な山行でした。ありがとうございました。

[コースタイム]

雄国萩平駐車場 7:50→金沢峠 8:15→雄国沼休憩舎 9:30→雄国山頂 10:40→牛ヶ岳山頂 11:00→雄国沼休憩舎 11:30~12:30→金沢峠 13:00→雄国萩平駐車場 13:25

文責：伊藤(貴)



西蔵王放牧場から瀧山 1,362m

2022年7月4日(月) 秋葉、栗崎(透)(容)

瀧山は蔵王温泉を火口としたカルデラの外輪山で山岳信仰の山です。登山口は三百坊という地名で、往時は数百の宿坊があったらしく、西行の「たぐひなき思ひでわの櫻かな うすくれなみの花のにほいは」の碑がある。



石の鳥居から出発し放牧地の裾を歩き、林の中の登山道に入ると親子の熊が逃げて行った。前滝コース道標があったので左に入るとそこは宝沢への路で間違いに気が付いて分岐まで戻る。正しい分岐はそのほんの少し先。



ここからはロープの張ってある急登の連続でドッコ沼分岐から少し下り登り返すと頂上。頂上からは蔵王連峰やスキー場、山形市

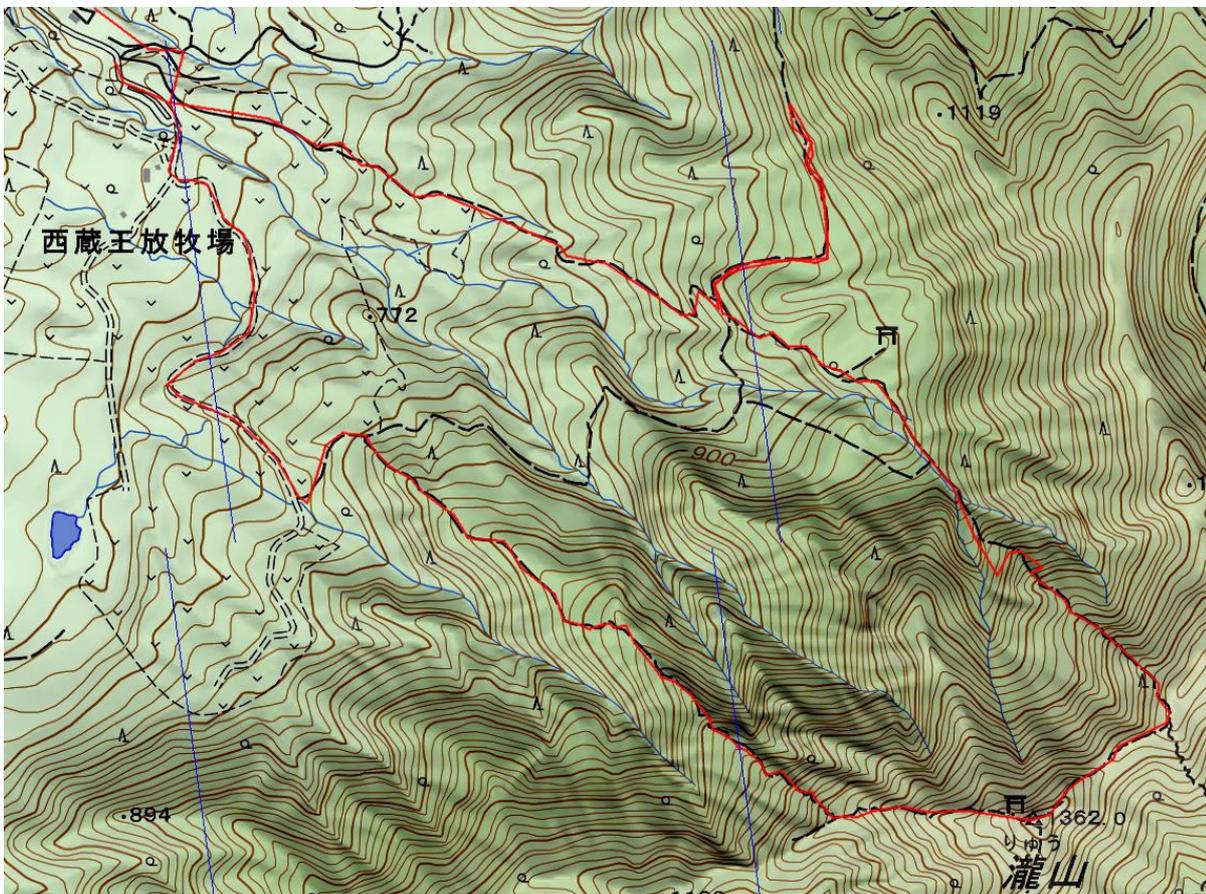


内が見渡せて素晴らしい展望でした。整備されている姥神コースで下山。

[コースタイム]

登山口 8:30 → 分岐 9:00~9:30 → ドッコ沼分岐 10:15 → 頂上 10:30~10:50
→ 姥地蔵 11:20 → 登山口 12:30

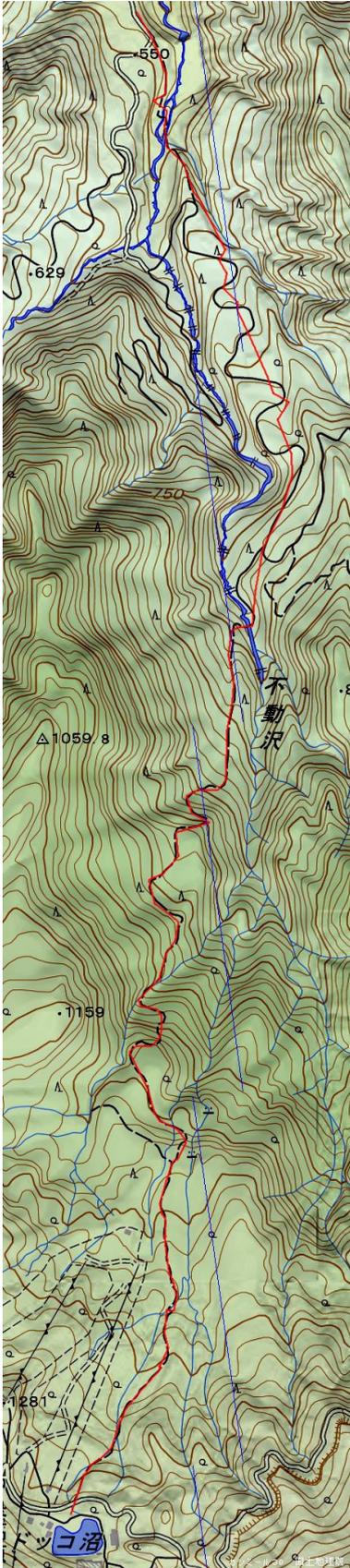
(文責：秋葉)



蔵王古道

2022年7月5日 秋葉(信)、栗崎(透)(容)

いくつかの蔵王の古道の復活がされているが、山形市の宝沢からの古道に惹かれ出かけた。



前夜は釈迦堂川河畔広場の東屋で過ごし、早朝に「行別地蔵」のある登山口に向かう。路は要所に案内板が設置されており、良い道ではないが迷うことはない。クマよけの一斗缶が数か所にぶら下げてあった。不動沢の渡る丸太橋は半分壊れており滑りやすく危険だ。栗崎さんたちは沢の中を渡った。約半分の所にあるサワグルミ巨木が見事だ。

貝の沢を渡り藪がかった登山道を進むと、本コース一番の見どころ不動滝。三筋に分かれ大量の水を落としている堂々とした滝だ。滝を過ぎる、ゆったりとした遊歩道を進むとブナ平を過ぎると、森の中に静かな水面を保つドッコ沼に着く。

下山すると雨が降ってきた。温泉施設テルメで汗を流し、山形名物の「冷やしラーメン」に舌鼓を打ち、帰路に着く。



[コースタイム]

宝沢登山口 4:50 → 丸太橋 5:50~6:10 → 不動滝 7:20 → 独鈷沼 7:50~8:30 → 丸太橋 9:40 → 登山口 10:30

(文責: 秋葉)



登山教室山行 シモフリ新道

2022年7月10日(日)

安部、蛭田(一)、佐藤(勝)、長谷川、赤塚(園)、柏村、佐藤(幸)、蛭田(み)、二瓶、菊地

登山教室の山行で、シモフリ新道から一切経へ行こうに参加してきました。健脚チーム、登山教室生チーム、その他会員チームの3チーム総勢33名の参加でした。久々の大所帯！

健脚チーム、登山教室生チームが出発してから、のんびりとスタートしました。当日の体調は朝から暑くて耐えられない感じ、ダメなら戻ろうと思いスタートしましたが、賽の河原までで回復。チームリーダーのリードは、とても素晴らしいものでした。しかし仲間の1人が足を攣ったり、体調が悪くなったりと、なかなか前に進めませんでした。チーム全員で励まし、支え合い、何とか駱駝山の直下まで来ましたが、天気も怪しくなっていており、無線で先生方と連絡を取り合い、下山か浄土平に降りるかで揉めました。シモフリ新道を歩いたことがあるのは私のみ。ここまで来たら、戻るより登って浄土平へ降りたほうが良いと判断し、責任を持って下山しなさいよ！と先生よりお達しがあり、リーダーが仲間を確保して歩きました。一切経山に着く頃には雷もゴロゴロ、雨もポツポツ。でも大降りにはならず。避難小屋で休憩して、残すは下りのみ！ビジターセンター見えてきたところで、先

● タイム 〰 距離 〰 上り 〰 下り
08:43 8.3 km 924 m 538 m

平均ペース 表示



に降りた仲間が私たちのチームを迎えにきたけれど、何だか様子が違う。大声で熊が沢あたりにいるから、降りてくるなー！！と... しばらく熊の様子を見て、迎えにきた仲間から熊横切って山の方へ行ったから降りてきて良いと言われて下山するが、熊さんにバッタリしなくて良かったとホッとした瞬間でした。

今回の山行は、色々あり中身が濃かったと思う忘れられない山行の一つになりました(笑笑)

[タイム]

不動沢駐車場 7:56 → 中天狗 10:50 → 駱駝山 12:45

→ 一切経山 14:40 → 酸ガ平避難小屋 15:20 → 鎌沼分岐 15:45

→ 浄土平ビジターセンター 16:40 (文責：菊地)



天空の楽園歩き 水引入道から不忘山へ

2022年7月10日(日) 小林



昨年歩いた南蔵王、南屏風岳から不忘山の稜線歩きが素晴らしかった。もう一度あの稜線を歩きたいと思い、チングルマやハクサンイチゲは終了したかも知れないが、今回は白石スキー場から水引入道、南屏風岳、不忘山の周回ルートで行ってみました。

登山教室で登る一切経あたりを横目で見ながら白石スキー場へ、到着すると良い天気です。テンションが上がりました。

水引入道のコースからスタートしました。グレンデをリフト1本分くらい歩いてから登山道へ入ります。

沢沿いの道を少しアップダウンしながら歩きましたが、樹林帯の中、時折吹く風が涼しく快適な歩きです。ということは、残りは急登。何回か徒渉すると、最後の渡渉点の向こうに、いきなり鎖の急登です。登り難くはな



ったものの、ここから水引入道まで急な登りでした。汗が吹き出し、脱水症状にならないよう水分補給に気をつけながらゆっくり登りましたが、ついに中盤で足が攣りました。少し進んでは休憩しながら、だままだまし歩いてなんとか水引入道に到着。ここからは一旦下って、また南蔵王縦走路への登り返しです。ただ景色に少し励まされ、休憩しながら進みました、屏風岳へ



の折り返しは断念しました。南蔵王縦走路の分岐に到着し、ここからの稜線歩きが今回の目的で、足をかばいながら景色を楽しみ南屏風岳に到着。簡単な昼食後、遠くでゴロゴロという音も聞こえるので不忘山へ向かいました。

不忘山で最後の景色を堪能し下山です。最初はガレ場、その後はドロドロやズルズル、階段が棚田状に水浸しなど傾斜は急ではないものの歩き難い登山道でした。途中から雨も降りだしましたが白石女子高小屋跡の手前から歩きやすい登山道になりスピードアップし、スキー場を駆け降りるように無事下山しました。

チングルマやハクサンイチゲのシーズンは終わっていましたが、その後の色々な花に出会えた山行でした。

[コースタイム] (距離 11.5km 登り 1,222m)

白石スキー場登山口 6:48～渡渉点 9:00～10:20 ジャンボリーコース分岐～10:30 水引入道

10:50～12:30 南屏風岳 12:55～13:30 不忘山 13:55～カエル岩(不忘の碑) 14:05～15:35 白石女子高小屋跡～15:45 登山口

(文責：小林)

月山フラワートレッキング

2022年7月13日(水)

秋葉、赤塚(将)(園)、菊地、山中

月山は5月にスキー登山に来ましたが、今回はフラワートレッキング。のんびりと高山植物を愛でる山行になりました。

月山八合目駐車場から登り始めます。ここからでもすでに眺望が良く庄内平野と日本海が望めます。登り始めてすぐの弥陀ヶ原に入ると、そこはすでに高山植物のお花畑になっていました。メンバーそれぞれが花を見つけるたびに歓声をあげ、また歩くとすぐに立ち止まり、また歩いては立ち止まるといった状態になっていました。写真を撮るのも忙しかったです。ニッコウキスゲやコバイケイソウの群落があり、池塘の周りのモウセンゴケには小さな可愛らしい花が咲いていました。



途中には雪渓が残っていてゆっくり横断して暫くすると佛生池になります。佛生池近くなると雨が降り始めました。佛生池小屋に到着する頃には雨脚も強くなり、しばし小屋で休憩することにしました。小屋では小屋番が飼っているオウム鳥の歓迎の奇声もあり、のんびりお茶しました。しばらくしても雨が降りやまないため、今回は山頂には登らず、ここから引き返すことになりました。下山途中では雨も上がり、八合目駐車場では日が差していました。

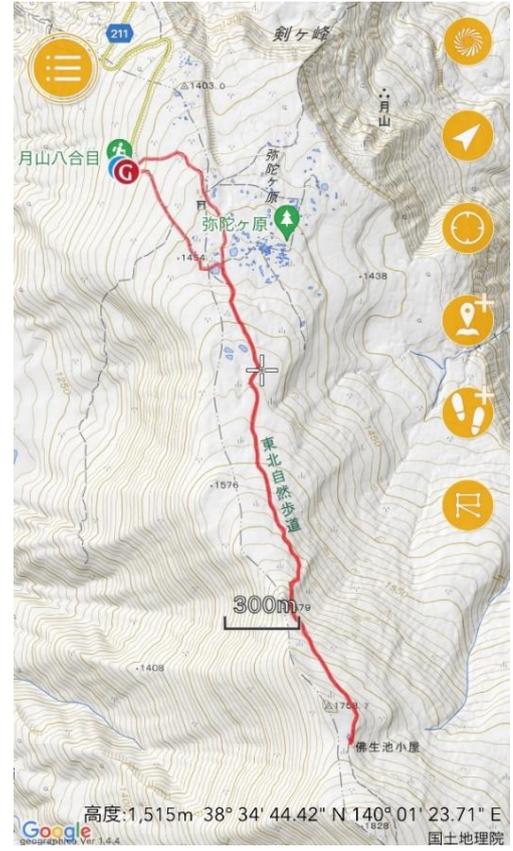


下山後は昼食にそばを食べることになり、羽黒山神社に観光がてら向かうことになりました。到着するとまず蕎麦を食べ、そのあとは五重塔や樹齢1000年の爺杉を観てのんびり観光をしました。

[コースタイム]

月山八合目駐車場 9:00 → 弥陀ヶ原 9:10 → 無量坂 10:15 → 佛生池小屋 11:00

→ 月山八合目駐車場 13:10



(文責:山中)

雲取山（2017m）縦走

2022年7月17・18日(日・月) 太

山梨県の丹波山村鴨沢から埼玉県秩父市の三峯神社まで縦走し、日本百名山で東京都の最高峰、雲取山を登り、最後は関東百名山のひとつ妙法ヶ岳に寄った。

JR 立川駅から始発電車で移動、奥多摩駅から丹波山村の鴨沢バス停に着いたのが6時40分。ダイヤル式登山靴の故障を応急修理し、不安を抱えて曇天の下スタート。村営駐車場までの途中、猿の群れに遭遇して緊張。小袖の舗装路脇から登山道に登る。樹林の中、随所にある将門伝説案内板を読みながら営業小屋、神社を経て七ッ石山へ進む。山頂西側の展望が良い。七ッ石山からブナ坂を下ると、開放感が心地よい石尾根縦走路の広い道。絶景が続く。ヘリポートを過ぎ、ヨモギノ頭や小雲取山から振り返ると、七ッ石山からの道と鷹ノ巣山、大菩薩嶺などもはっきり望める。富士は雲に隠れていたが、雲取山避難小屋と山頂での展望はさらに素晴らしい。埼玉県側に下り、雲取山荘に宿泊。ソロのため大部屋だが、内部はビニル間仕切りなどの感染症対策がとられていた。18時夕食後は早めに就寝。明け方近くから東京夜景と日出を山荘前で眺めた。

朝5時の朝食後は早速に出発、樹林の道を歩く。大ダワを過ぎ、ピークとコルを繰り返して炭焼平に下る。途中の霧藻ヶ峰の営業小屋で淹れたての珈琲を飲む。分岐から妙法ヶ岳に向かう。立派なの四之鳥居をくぐり、足場パイプの階段箇所を過ぎ、最後のクサリ場を登った岩峰が妙法ヶ岳。石祠のほか秩父宮記念碑が建立されており、見晴らしはとても良い。四之鳥居まで戻り、下っていくと、三之鳥居で縦走路に再び合流、奥宮参道を逆に辿り三峯神社本殿前に出た。

三峯神社から11時30分のバスで秩父駅まで下り、私鉄に乗って都内池袋駅へ戻った。



[コースタイム]

7月17日(日)

6:45 鴨沢バス停→7:20 村営駐車場→7:25 登山口
→10:10 七ッ石小屋→11:05 七ッ石山
→11:55 ヘリポート→12:15 ヨモギノ頭
→12:50 小雲取山→13:15 雲取山避難小屋
→13:35 雲取山→14:05 雲取山荘

7月18日(月)

5:35 雲取山荘→5:50 大ダワ
→6:35 芋ノ木ドッケ 6:50→7:00 白岩山
→7:10 白岩小屋→7:30 前白岩山→8:10 お清平
→8:35 霧藻ヶ峰 8:45→8:50 地蔵峠
→9:05 炭焼平→9:30 三峯神社奥宮四之鳥居
→9:45 妙法ヶ岳(三峯神社奥宮)→10:45 三峯神社

(文責: 太)

